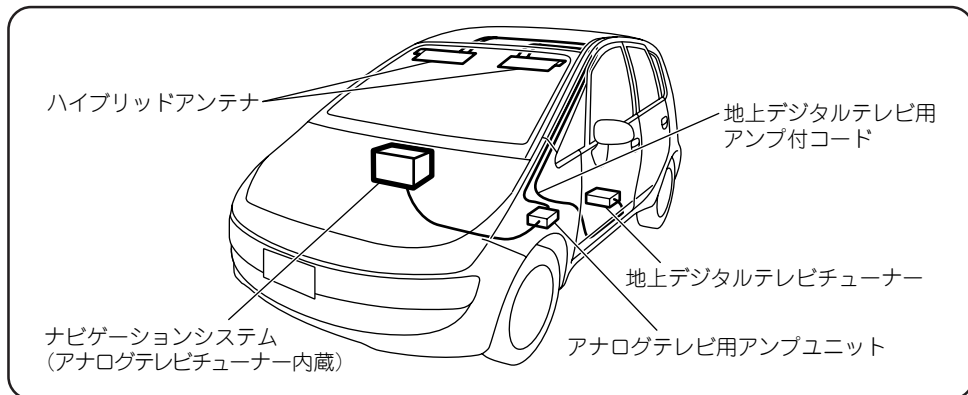


ハイブリッドアンテナ取付要領書

AG-200F

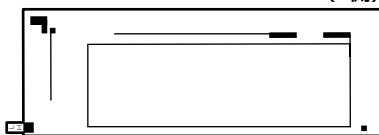
このたびは、ハイブリッドアンテナをお買い上げいただき、ありがとうございます。
取り付けの前に、この取付要領書を必ずお読みください。
取り付け終了後は、後日お役に立つこともありますので、保管してください。



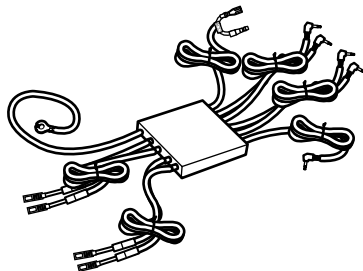
構成部品

●ハイブリッドアンテナ

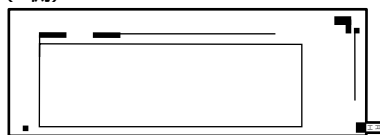
(L側)



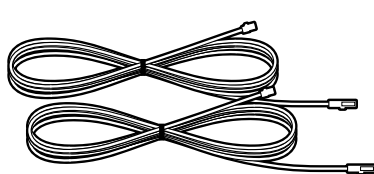
●アナログテレビ用アンブユニット



(R側)

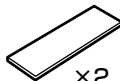


●地上デジタルテレビ用アンブ付コード



●クッションテープ

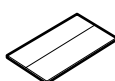
●アルミテープ



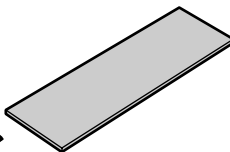
●圧着式コネクター



●アースシール



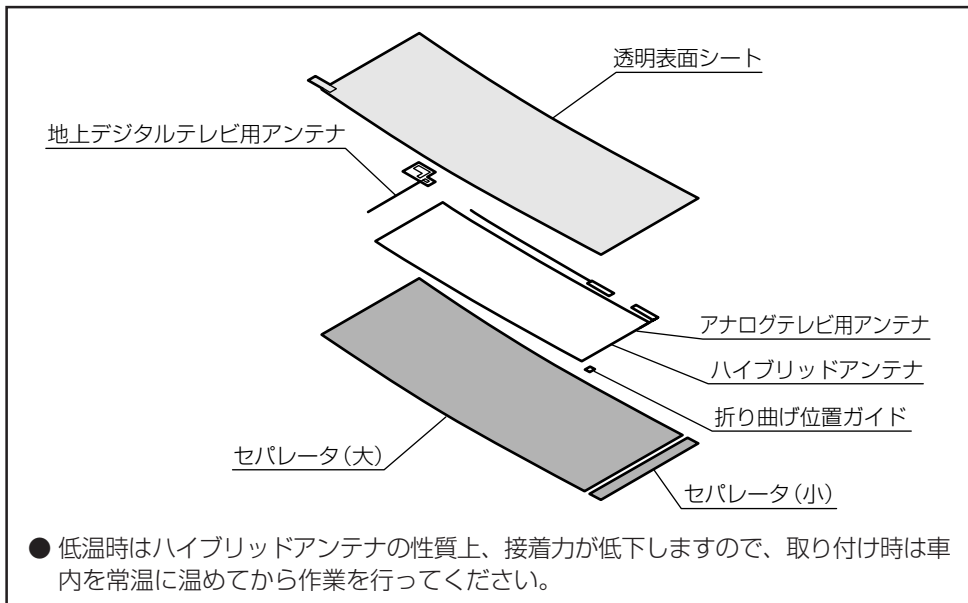
●クリーナー



●取付要領書








ハイブリッドアンテナの構造



安全のために必ず守ること

本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示とともに、取り扱い上の注意点を記載しています。

絵表示は次のような意味を示しています。

	警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
		このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。
		このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。
		この絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

警告

運転者は運転中に、画像を注視しない。

前方不注意となり事故の原因となります。

道路交通法により、運転者が走行中に画面を注視することは禁止されています。



禁止

運転者は走行中に複雑な操作をしない。

運転中に複雑な操作をすると、前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。



禁止

運転者がテレビを見るときは必ず安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけて使用する。



必ず行う

画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない。

事故、火災、感電の原因となります。



禁止

本製品を分解したり、改造しない。

故障、火災、感電の原因となります。



分解禁止

本製品はDC12Vマイナス⊖アース車です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など24V車ででの使用はしない。

火災や故障の原因となります。



禁止

機器内部に水や異物を入れない。

発煙、発火、感電、故障の原因となります。



禁止

万一、異物が入った、水がかかった、煙がでる、変な匂いがするなど異常が起こったら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店か弊社代理店に相談する。

そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。



必ず行う

雷が鳴りだしたら、アンテナ線やテレビに触れない。

落雷により感電の原因となります。



接触禁止

本製品は、フロントガラスの保安基準に適合しておりますが、本取付要領書の指示通りに取り付けされていない場合、保安基準適合品として認められない場合があります。



禁止

取り付け・配線時などのご注意



警告

取り付け作業前には、バッテリーのマイナス ⊖ 端子を外す。

ショート事故による感電やけがの原因となります。



必ず行う

前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けない。



禁止

交通事故やけがの原因となります。

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない。

エアバッグ動作を妨げる場所に取り付け・配線すると交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しない原因となり危険です。



禁止

電源コードの被膜を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止める。

電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。



禁止

車体に穴をあけて取り付けの場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触しないよう注意して行う。

誤った穴あけをすると火災の原因となります。



注意

車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しない。

これらを使用しますと制御不能や発火、事故の原因となります。



禁止

コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープなどでまとめておく。

ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。



必ず行う

取り付けと配線が終わったら、ブレーキやライト、ホーン、ウインカーなどの電装品が元通り、正常に動作することを確認する。

正常に動作しない状態で使用すると火災や感電、事故の原因となります。



必ず行う

注意

本製品の取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。



必ず行う

誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。

必ず付属の部品を指定通り使用してください。



必ず行う

指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

取付要領書で指定された通りに接続してください。



必ず行う

正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。

エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。



必ず行う

エアバッグが誤作動する原因となることがあります。

車体やねじ部分、シートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。



注意

断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。

コード類の配線は、高温部を避けて行ってください。



注意

コード類が車体の高温部に接触すると被膜が破れショートし、火災、感電の原因となることがあります。

一部車種の熱線吸収ガラスや、メタリックフィルム等の特殊加工をほどこしたガラスへの貼り付けは、性能を十分に発揮できない場合があります。



注意

本製品はフロントガラス専用設計されています。

フロントガラス以外へ取り付けした場合は十分な性能が発揮されない場合があります。



注意

本製品は、可動するガラスには取り付けできません。

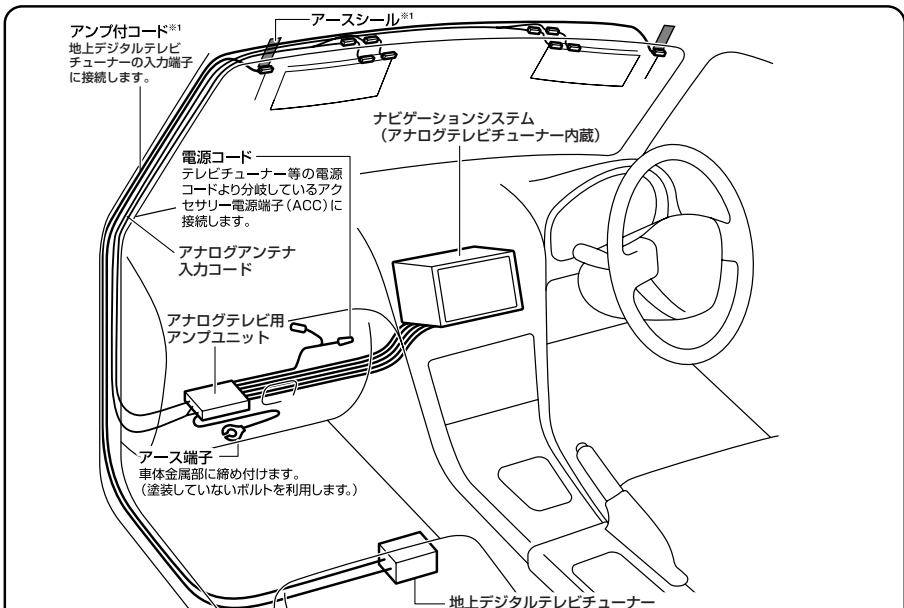
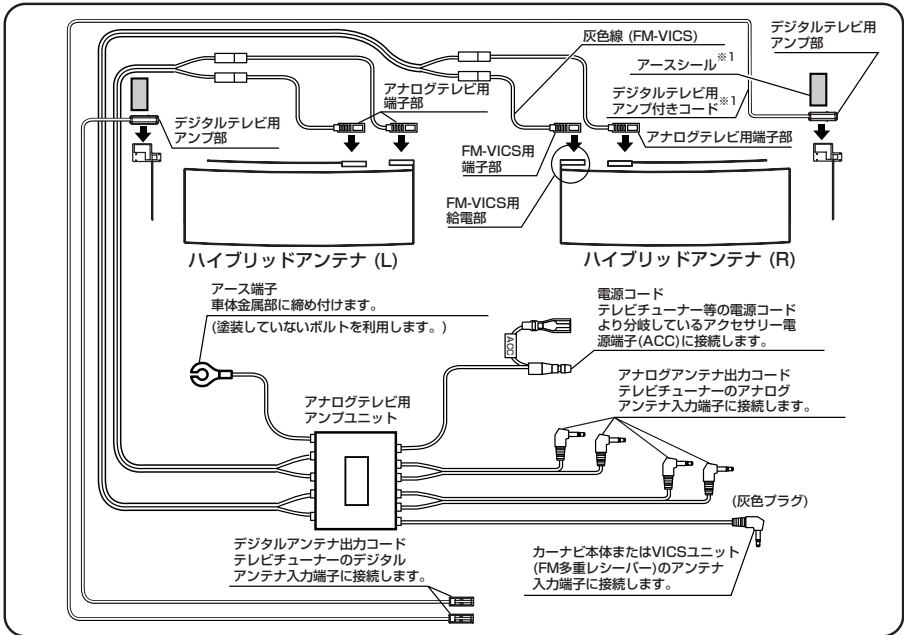
可動するガラスに取り付けした場合、十分な性能が発揮されない場合があります。



注意

接続要領

※室内から見た図



注意

運転席ハンドル下及び足元には配線を絶対に通さないようにしてください。
(アクセルペダルやブレーキペダルにからまる恐れがあり、非常に危険です。)

※1 アースシール・アンプ付コードは左右同一品です。

使用工具類



ドライバ
⊕、⊖



柔らかい布



ガラス
クリーナー



プライヤー



ビニールテープ



ハサミ

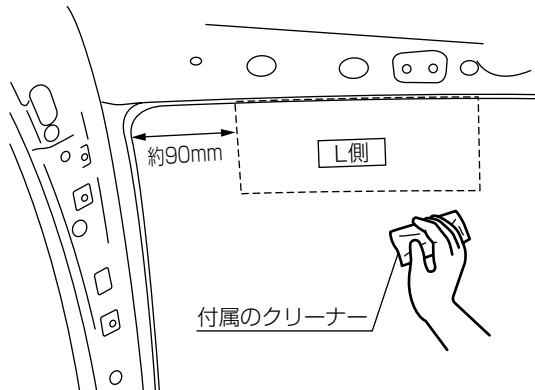
取付要領

1 内装部品を取り外します。

- Aピラー、キックパネル、スカッフプレート、ルーフライニングを取り外してください。

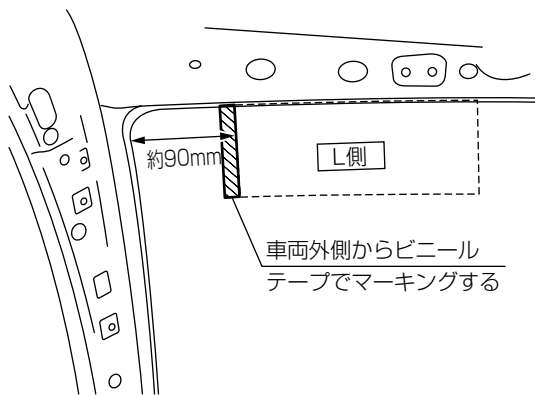
2 フロントガラスの汚れをガラスクリーナーと付属のクリーナーで完全に拭き取ります。

- 市販のクリーナーなどでガラス面の汚れを拭き取った後、付属のクリーナーで、ガラス面の油分を除去してください。
- 貼り付けガラス面は、フィルム接着面が非常に細く、接着面積が少ないため、完全なクリーニングを必要とします。汚れ、ほこりが残っていると十分な接着強度を得ることができません。
- クリーナーのアルコール分が完全に乾くまで放置してください。



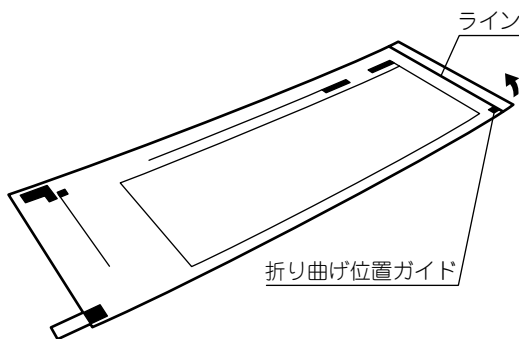
3 ハイブリッドアンテナ 貼り付け位置をマーキング します。

- L側、R側共にガラスの外側より90mm離れた場所にビニールテープで車両外側からマーキングしてください。
ハイブリッドアンテナがガラスの外側に近づき過ぎるとテレビ受信性能が悪化する場合があります。

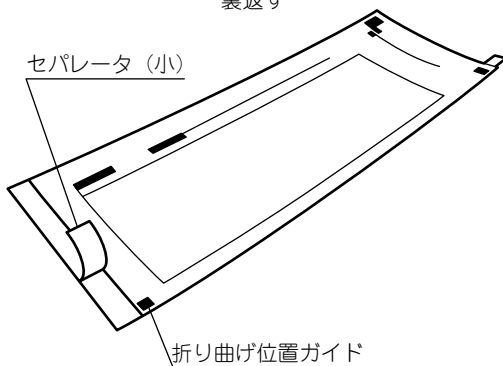


4 ハイブリッドアンテナの端を折り曲げ、セパレータ(小)を剥がします。

- 折り曲げ位置ガイドの隣にあるラインに沿って、アンテナを透明表面シート側へ折り曲げてください。
- セパレータ(小)を剥がしてください。



裏返す

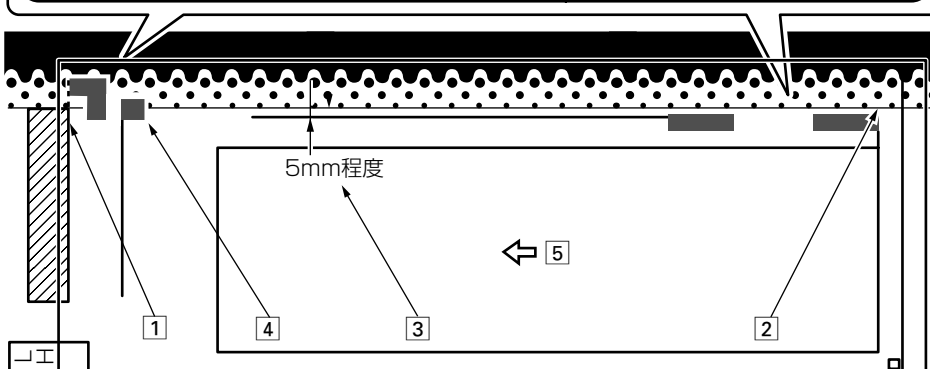
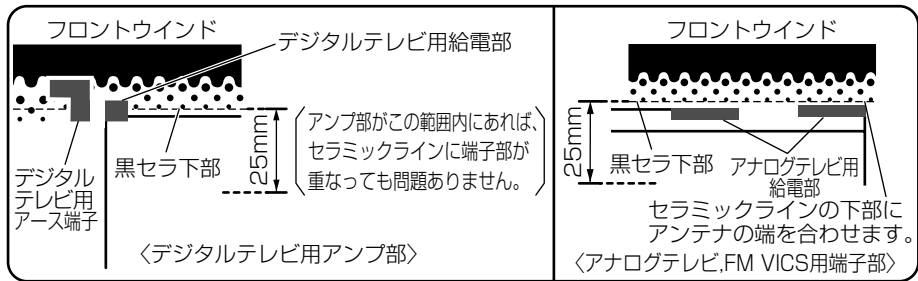


5

ハイブリッドアンテナの貼り付け要領 (L側)

① ご注意

デジタルテレビ用アンブ部及びアナログテレビ用端子部は必ず下図に示す25mmの範囲内に貼り付けてください。この範囲を外れると国土交通省の定める保安基準に不適合となります。



貼り付け前の準備

- ① デジタルテレビ用アース端子をマーキングの位置に合わせます。
- ② アナログテレビ、FM VICS用端子の角をセラミックライン下部に合わせます。
- ③ アンテナパターン上側のラインとセラミックラインが平行になり、5mm程度の間隔になるようにします。
- ④ デジタルテレビ用給電部の位置が25mmの範囲にあることを確認します。

アドバイス

セパレータ(小)の部分をガラスに貼り付けることで仮固定ができます。セパレータ(小)の部分は、数度貼り直しができることから、貼り付け条件の位置となるよう位置を決めてください。

貼り付け作業

- ⑤ 折り曲げ位置ガイド隣よりセパレータ(大)を剥がします。アンテナをセパレータ(小)側から押し当てて徐々に貼り付けます。
- システムを正常に作動させるため、アンテナは、図示寸法の位置に位置決めしてください。
 - R側は、ルームミラーを中心に逆(フィルムは左右反転)となります。

6

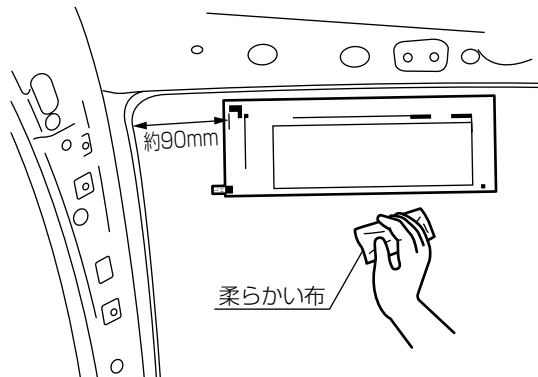
ハイブリッドアンテナ側をガラス面に密着させます。

- 貼り付け後、柔らかい布を使用し透明表面シートの上からハイブリッドアンテナ部分をよくこすり、ガラス面に密着させてください。
- 貼り付け後、30分間放置してください。

！ご注意

ハイブリッドアンテナは、貼り付けた後は、位置の変更、移動ができませんのでご注意ください。

- 同様にR側も貼り付けてください。

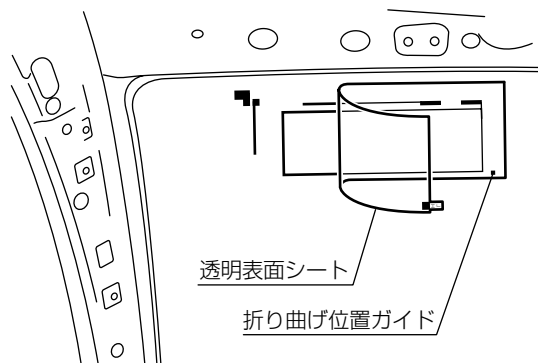


7

透明表面シートをはがし、折り曲げ位置ガイドをはがします。

！ご注意

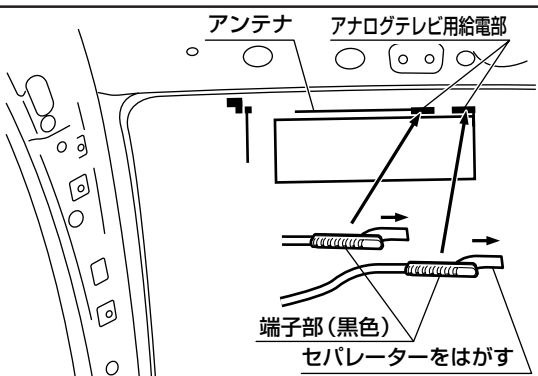
貼り付け直後は、粘着力が弱くはがれる恐れがありますので、透明表面シートをゆっくりはがしてください。



8

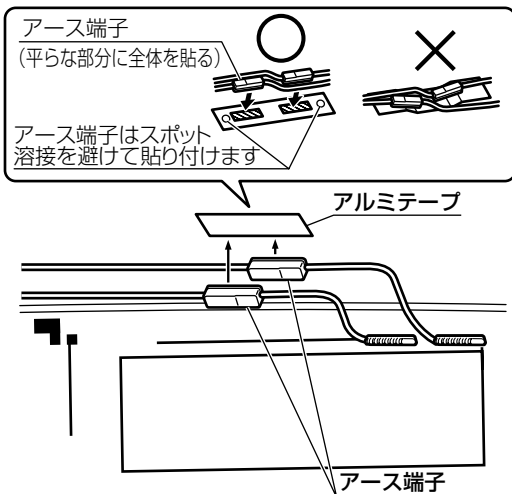
ハイブリッドアンテナのアナログテレビ用給電部にアナログテレビ用アンプユニットの端子部を貼り付けます。

- 一度貼り付けた端子部は再使用できませんので、ご注意ください。



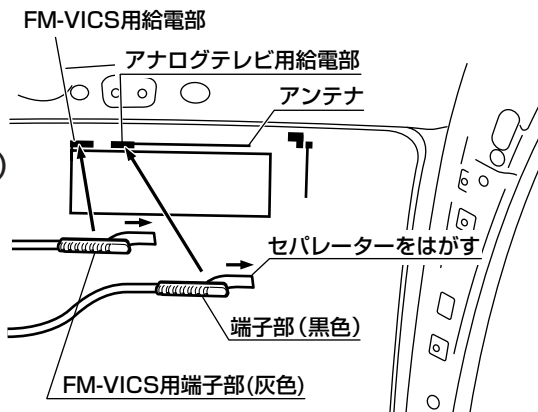
9 車体金属部分にアルミテープを貼り、アースをとります。

- アース端子が届く範囲の平らな金属部分にアルミテープを貼り付けてください。
- アルミテープの上にアース端子全体を貼り付けてください。
- 車体金属部分の塗装をはがす必要はありません。



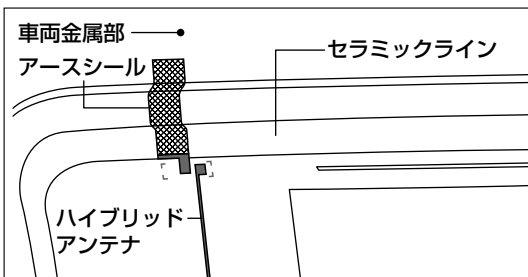
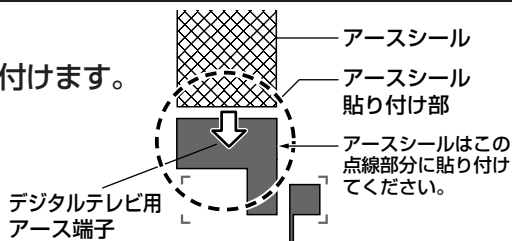
10 VICS用端子部(灰色)は、FM-VICS用給電部に貼り付けます。(右フィルムの左端子)

- 車両左側同様にアースをとります。(9項参照)



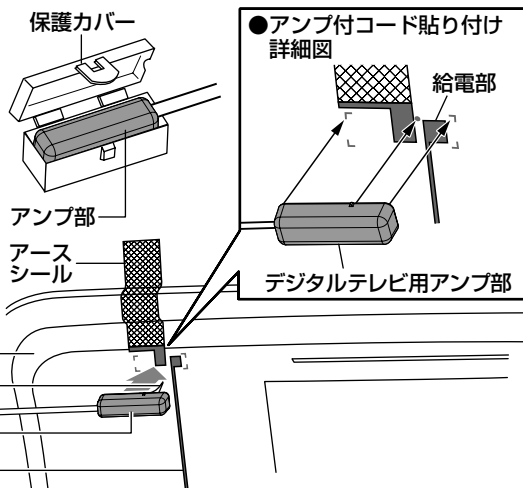
11 アースシールを貼り付けます。

- アンブ付コード・アースシールを取り付ける部分の油分やホコリなどの汚れを付属のクリーナーで拭き取ってください。
- アースシールをデジタルテレビ用アース端子(アースシール貼り付け部)に貼り付け、車両金属部に貼り付けます。
- 貼り付け部に段差がある場合は、段差に沿ってアースシールを貼付けてください。
- アースシールが浮いてしまうと、本来の機能を発揮できない恐れがあります。



12 アンブ付コードの保護カバーを外して、デジタルテレビ用アンブ部の両面テープ保護フィルムを剥がし、給電部に貼り付けます。(L側)

- 給電部にアンブ部を貼り付ける際、アンブ部の突起部と給電部の [] マークを合わせて給電部が見えなくなるようにアンブ部を貼り付けてください。
- アンブ部の接着面、接点部には手を触れないでください。
- アンブ部のコード引き出しは、車内側から見た場合、左方向となります。方向を間違えないように貼り付けてください。

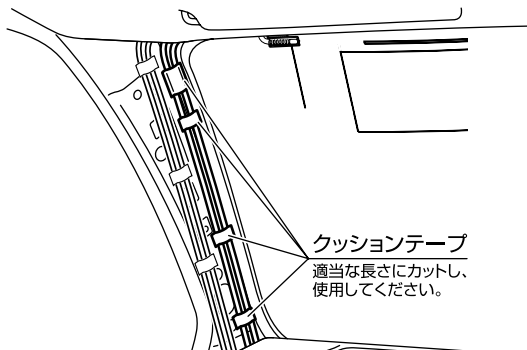


13 R側も同様に貼り付け作業を行います。

- アンブ部のコード引き出しは、車内側から見た場合、左方向となります。方向を間違えないように貼り付けてください。(アンブコードは左右同一品です。)

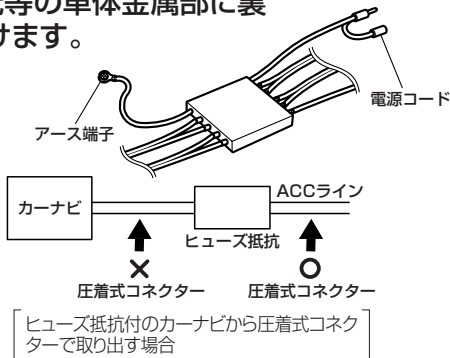
14 入力コードをクッションテープで固定し、金属部分に密着させます。

- 配線は極力、金属部分に付属のクッションテープで固定してください。性能に影響がでる恐れがあります。
- コードは無理に引っ張ったり、折り曲げたりしないでください。また、内装取り付けの際、コードかみ込みにご注意ください。ショート・性能劣化の原因となります。



15 アンプユニットのアース端子を車体にボディアースし、電源コードをACCに接続します。アース端子、電源コード接続後、アンプユニットを助手席足元等の車体金属部に裏面の両面テープで貼り付けます。

- アースがとれていることをテスター等で確認してください。
- 電源コードはテレビチューナーの配線等より分岐しているACC(アクセサリ電源端子)に接続してください。
- 分岐しているACC端子がない場合には圧着式コネクターを利用して電源をとってください。



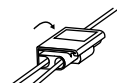
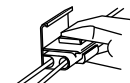
圧着式コネクターの接続方法

ナビゲーションシステムの電源コード (ACC・赤)

使用しません。

1.電源コードのギボシ端子を切断します。

2.圧着式コネクターにナビゲーションシステムの電源コード(赤)を差し込みます。



アンプユニットの取り付け位置について

アース端子
車体のボディアースに接続します

アンプユニット
助手席足元等の車体金属部に
アンプユニット裏面の両面テープ
で貼り付けます

車両進行方向

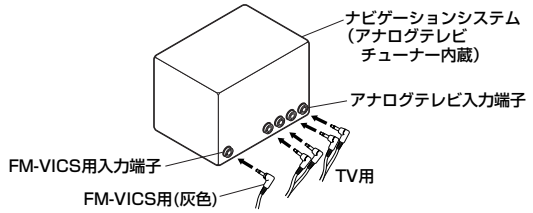


カーペット

16

5chのうち4ch分の出カケーブルをアナログテレビの入力端子に、VICSアンテナ用1ch(灰色プラグ)をFM-VICS入力端子に接続します。

- FM-VICSの入力端子がない場合FM-VICS用の配線は必要ありません。
- TVフィルムアンテナが確実に動作しているかTV側に電源を入れている状態で、下記の内容を確認し、異常のある場合は、取り付け手順に従い確認を行ってください。

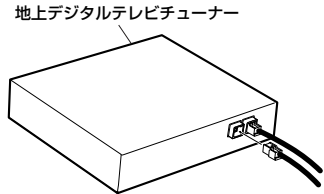


NO.	確認内容
1	アンプユニットのACCを抜き差しして画像にアンプの効果が現れるか(例: 白黒画像がカラー画像に変化)
2	TVに接続されているアンテナコードを1本ずつ挿入し、アンテナがつながっているか画像確認

17

地上デジタルテレビ用アンプ付コード2本を地上デジタルテレビチューナーに接続します。

- アンテナが確実に作動しているかTV側に電源を入れている状態で、画像が映るか確認し、異常のある場合は取り付け手順に従い確認を行ってください。
- 地上デジタルテレビチューナーの同一色コネクタであればどちらに差し込んでも、問題ありません。



●● 確認内容 ●●

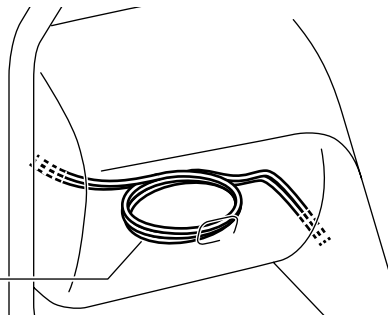
アンテナ出力コード1本ずつをデジタルテレビチューナーの入力コネクタに取付け、アンテナが確実に接続されているか画像にて確認してください。

18

コード類の余長を処理します。

- 余ったコード類は、助手席グローブボックス裏等で20cm程度の円を描くようにまわめ、処理してください。(信号の劣化が少なくなります。)

コード類の余長は
20cm程度にまとめる



19

内装部品を元通りに取り付けます。

仕様

●アナログテレビ用

受信チャンネル	VHF(1~12ch)/UHF(13~62ch)/FM-VICS対応
出力インピーダンス	75Ω×5
出力端子	L型イヤホンプラグ
ケーブルの長さ	アンプ入力側：4.4m/アンプ出力側：3m
フィルム寸法	128mm×356mm (2)
アンプユニット寸法 (H×W×D)	55mm×59mm×9mm
アンプゲイン	8~12dB
定格電圧	DC12V
消費電流	105mA
質量(重さ)	315g (ケーブル含む)

●地上デジタルテレビ用

受信チャンネル	UHF(13~62ch)
出力インピーダンス	75Ω×2
出力端子	GT13S-1S-HU
ケーブルの長さ	5m
アンプゲイン	12dB
定格電圧	DC12V
消費電流	80mA
質量(重さ)	約112g (ケーブル含む)

●受信について

受信環境(トンネル内、ビルの谷間、テレビ塔付近)によっては、鮮明な画像が得られない場合があります。ラジオ、パーソナル無線、自動車電話などが近くにある場合は、それらのアンテナを十分離してください。断熱ガラスを使用した車及び熱線遮断フィルムを使用した車では、その一部に電波を通しにくいものがあり、受信できないことがあります。

●お手入れについて

汚れは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れのひどいときは、水に薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞って拭き取り、乾いた布でからぶきしてください。アルコール、シンナー、ベンジンなどご使用にならないでください。

●調子が悪いときは

この説明書をもう一度御覧になってお調べください。お買い上げ店にご相談ください。

●仕様は予告なく変更する場合があります。

■ご自分で取り付けが困難な場合は、お買い上げ店または、カーディーラーにご相談ください。



〒100-8310
東京都千代田区丸の内2-7-3 (東京ビル)

N871L67830 07.06